

京都のINGを  
CHECK IT OUT!!

# ロコモ情報 カタログ

## THIS MONTH TOP NEWS

創業1978年  
営業27年目

大宮  
錦小路



「焼くのはお母さん担当。  
生地を練るのはお父さん担当」と分担作業ながら、具材のアイデア練りはご夫婦で仲睦まじく共同作業。常連の中には「東京からたこ焼きだけを食べに来はって」と年に2~3回来店するファンも少なくない

「つぼみを蕾と思うながれ。歴とした「貝バリエ」が満開

「つぼみ」とは花の蕾み状態の意ではなく、「蕾」状の鉄板から味を醸し出すコトに由来する。遡ること25年前、西陣で帯を織っていた工本ご夫婦が今宮神社の屋台で食したたこ焼きが「ウチのよう」に変わった中身だった。その商売に燃えてなかつたかも。その後、四条大宮で12年、中身の具を「お母さんは嫌いに、息子はチーズが嫌いになつたんよ」と食べ飽きるくらい試行錯誤させた。その甲斐も26年の歳月もあり、鉄板140個の窓みでバリエに富んだ花を咲かせている。

ミックス(蛸4個・うずら3個・チーズコーン3個)は計10個で400円。その他大だこ630円、普通たこ320円・すじ肉520円・明太子600円・帆立600円・サザエ600円・ウィンナース520円・肉520円・海老520円・うずら520円・チーズコーン520円・お餅500円各10個



●壺味 つぼみ  
■京都市中京区  
大宮通錦小路下ル  
☎075-821-6328  
◎11:00~24:00 / 水休



創業1969年  
営業35年目

北白川  
御蔭



巷では「蛸安」はふつぶらと焼き上がった球体、それは京に現存するたこ焼き屋の長老と稱される。でも、主・安山さん曰く「歴史の古さとブランド品に頼ればたこ焼きも骨董品だ」。そう言えるまで屋台から35年間を費やした。「名水も産地じゃなく、ミネラル・鉄分の中身でしょ。たこ焼きが一緒、京都で『ふつぶら』なのはココ」との性格に徹してきましたから現在があるのだ。経験を娘に着す、「一心不乱な心があるのだ」と料理してきた「蛸安」の弟子達もまた、同じ想いを3店舗で刻む。

「蛸焼」(8個)500円。「舌に刺さるので甘さ辛さではなく。舌で軽がるような…」が再現された蛸焼きは全25種。その他「蛸料理の部」なる13種類のメニューが揃い、最新の傑作はビビンバのたこ焼きVer。「蛸石」



「お客様に与えられたものを口に運ぶだけの一方向的な商売とは違って、来てくれる人の要望につぶさに応えられる」をモットーにする安山英市さん(写真奥)。そんなご主人が予約客だけに「自分達だけの世界」をと貸し出す2階は座敷のお座敷

## 「古い」で豪ひない。「ふつぶら」性格のパイオニア

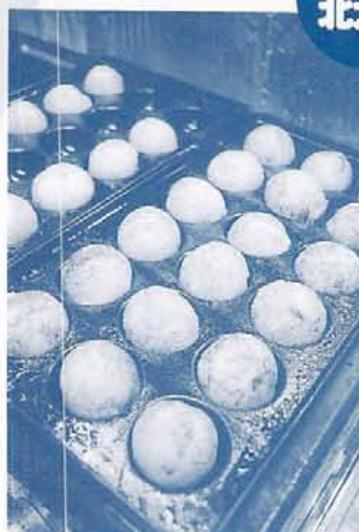
京都のその球体の中身は、キャラベツ入りだつたり、バリエに富んでいたり、ブランド志向の蛸だつたり、タレもソースだつたり、違つてたり。一つひとつたこ焼き毎に共通するキーワードはないが、むしろキャラの違いは際立つ。ここに登場の4店舗は京都たこ焼き界でも特に個性豊かであり、且つ歴史が特に古い店々。プラス新たな味のニュアンスを含んだ一店舗。さあ新旧の「蛸焼き」5キャラ5味で、自身の好みのルーツを探れ。

粉モノ活りは失礼。B級グルメにもあらず  
「たこ焼き」、よつつのルーツ  
ひとつ的新味、計5キャラ・5味

●蛸安 たこやす  
■京都市左京区  
北白川別当町バス停前  
☎075-701-8113  
◎16:00~翌2:00  
日・休日最終日12:00~22:00 / 水休  
<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~takoyasu/>

創業1999年  
營業4年月

白川  
北大路



具は「天かす」「桜エビ」、そして歯ごたえのある「納の足」のみの「たこ味焼（9個）」500円は10分ほど待つ時間が必要。「繩つゆなど、つゆ系を食べる」と舌が銚り微妙な味の差が解らなくなる」と。塩味ゆえ細心の注意は拭えない

「ウチは『蛸の味焼き』で小籠包目指してますから」と『味焼き』の鈴木さん。蛸のダンシ生地が吸収するごとに焼きを繰り返し、12年生業として5年が経つ。らナマの周防漁港産を塩もみ＆ホイルした蛸、数日間寝かした「そんなしゃぶしゃぶでいいの?」と尋ねられる程のサラ生地。それを焼き上げるコトで、漁港の薄い生地に蛸のエキス「ベタイン」が吸収され純粹な蛸味が移る。結果、中身トロトロ口の微弱な塩味が効いた妙味が完成するのだ。ソースを塗らない眞味といえソース否定派ではないが、彼のたこ焼きは「噛めば、煮汁が湧き出す」蛸味肯定派。



「蛸の様」との縁結日本一認定を誇る。現在1139人をほこる会員が在籍。そして縁結で焼きたてを貰えば、四字熟語の「お礼ステッカー」が貰える。

創業1985年  
營業18年目

「つい3年ほど前、転職歴を越えてしまいましたわ」と御年64歳のご主人。最近は頃で無農薬野菜の委託販売を始めたのだとか。



「たこ焼き屋は一日中火の番せなあ  
かんから、遊びの誘いも断れるとおも  
して」と鋤屋からたこ焼き屋への間に  
一大文字。脣絡のない両極に  
ご主人が通字した信頼は、「子供や孫が安  
心して食べられるもの」を提供するこ  
と。油分を最小限に抑えるために、玉  
かすを使わずに粉・玉子・ダシ汁のバ  
ランスを独自に割り出したあつさり味  
は、和食畠を歩んだご主人の集大成  
子供の類のようにふっくらと焼き上がり  
る町内のおやつを前に、「大文字のお  
ちゃん」はもう18年間火の番を怠つ  
ない。

生地に千切りキャベツ、ネギ、紅しょうがを選ぶ「たこ焼」(8個) 300円は「胃にもたれない」と年配客からも喜ばれている。「チーズ入たこ焼」(10個) 450円や「たこスパゲッティ」(10個) 550円も人気ヒット。

創業1983年  
營業20年目

一乘寺



天かす、千切りキャベツ、紅しょうがを混ぜ合わせた生地と主役の蛸を熟練の火加減で封じ込める「たこ焼き」(9個)600円。「蛸造り」600円。「蛸フツ」600円のサイドメニューは新鮮な生蛸を仕入れている証。

カリックカリの精肉に籠城するトロットウの生地と大粒の蛸、蛸虎の御家芸は、30分の硬軟のギャップに集約される。30分を費す「焼き」の火加減を司るのは、人前の蛸虎アシスタントだが、その花形に到達するまでの具の質や気温に応じて水加減を調節する「仕込みの勘」を養わなければならない。体得したとて、「フランチャイズは一切お断り」が創業主の信条。4つの直営店を任せせる相手も信頼できる親類縁者のみだ。基本の味が一人歩きしないよう、虎の巻はたこ焼き以上に堅い毅で守られている。



「打倒趙虎？」意識してもらえるのは  
すごく光榮だし、基本大事にしなくては、とますます身が入ります」と本店を仕切る森下店長談



ソースを纏わない、小籠包を追従する「蛸味」

新旧・大文字の共通項は、「あつさり和風」の親心

九太町通  
七番町通  
竹原町通

●たこ茶屋 大文字  
たこぢゃやだいもんじ  
■京都市中京区河原町通  
竹屋町上ル西側  
☎075・231・4848  
◎11:30～22:00  
日祝～21:00／無休

● 緑蛸 えんたこ  
■ 京都市左京区  
一乗寺出口町16  
☎ 075-724-1380  
● 17:00~翌1:00  
土日祝15:00~翌1:00 / 木休

